

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年12月24日(2009.12.24)

【公表番号】特表2009-520696(P2009-520696A)

【公表日】平成21年5月28日(2009.5.28)

【年通号数】公開・登録公報2009-021

【出願番号】特願2008-546020(P2008-546020)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/02	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
C 0 7 K	14/75	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	37/02
A 6 1 P	9/02
A 6 1 P	29/00
A 6 1 P	11/00
A 6 1 P	1/16
A 6 1 P	13/12
A 6 1 K	48/00
C 0 7 K	14/75

Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月6日(2009.11.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記のN末端配列Gly-His-Arg-Pro-Leu-Asp-Lys-Lys-Arg-Glu-Glu-Ala-Pro-Ser-Leu-Arg-Pro-Ala-Pro-Pro-Pro-Ile-Ser-Gly-Gly-Gly-Tyr-Argを含むペプチド、または、ヒトフィブリンのB鎖(すなわち、B₁₅₋₄₂)における誘導性VE-カドヘリン結合モチーフと一致する生物学的特性を有する前記ペプチドの対立遺伝子の変異体または誘導体を含む、出血性ショック及びその続発症の治療用の医薬組成物。

【請求項2】

前記ペプチドが、

Gly-His-Arg-Pro-Leu-Asp-Lys-Lys-Arg-Glu-Glu-Ala-Pro-Ser-Leu-Arg-Pro-Ala-Pro-Pro-Ile-Ser-Gly-Gly-Gly-Tyr-Arg

であることを特徴とする、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項3】

フィブリン E 断片を用いた誘発の後に内皮細胞からのインターロイキン - 6 (I L - 6) の放出の阻害を測定することによって、ペプチドの抗炎症作用を判定する方法。

【請求項 4】

ショックが、適切な組織灌流の維持の能力をもたらす大量出血に関連するか、それによって引き起こされるものであり、医薬組成物は全身性炎症反応症候群 (S I R S) 、急性呼吸窮迫症候群 (A R D S) 、肝不全、腎不全、および多臓器不全を含むこの状況の有害な結果を低減または除去するものである、請求項 1 または 2 に記載の医薬組成物。